

株式会社ダイフク

平成25年3月期

決算説明資料

平成25年5月14日

DAIFUKU

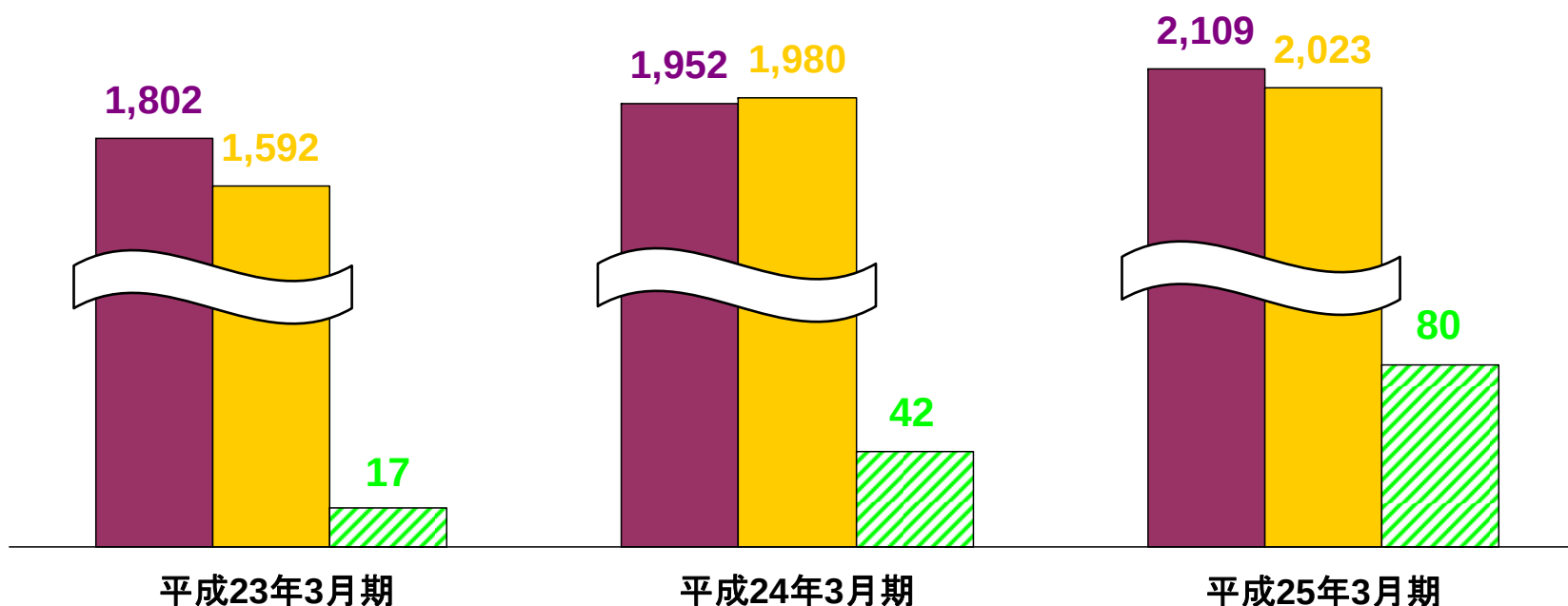
Always an Edge Ahead

- ダイフク単体のコストダウン、プロジェクト管理の徹底により、大幅増益
- アジアを中心とする海外子会社が利益面で貢献

【業績推移】

(単位: 億円)

■ 受注高 ■ 売上高 ■ 営業利益



平成25年3月期業績(連結)

DAIFUKU

2

(単位: 億円)

	平成25年3月期	前年同期	対前年同期比
受注高	2,109.9	1,952.1	8.1%増
売上高	2,023.3	1,980.5	2.2%増
営業利益	80.1	42.1	89.9%増
経常利益	79.9	40.2	98.9%増
当期純利益	44.3	12.2	262.9%増
包括利益	110.4	7.4	103.0億円増益
1株当たり 当期純利益	40.12円	11.05円	

※ 前年同期の受注高には、平成23年4月に買収したローガン社の受注残約60億円を含む
 平成25年3月期の受注高には、平成24年11月に買収したELS社の受注残約65億円を含む

(単位: 億円)

	受注高		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (当期純利益)	
	平成25/3期	前年同期	平成25/3期	前年同期	平成25/3期	前年同期
ダイフク	1,065.6	1,118.7	1,100.9	1,146.1	56.0	18.8
コンテック	93.2	83.5	89.3	81.6	1.7	0.6
DWHC※1	448.5	257.7	381.5	282.7	5.6	11.2
その他	502.5	492.1	453.7	450.1	21.3	16.9
連結調整等	-	-	△2.1	19.8	△40.3	△35.5
計(調整後)	2,109.9	1,952.1	2,023.3	1,980.5	44.3	12.2

※1 DWHC=DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY

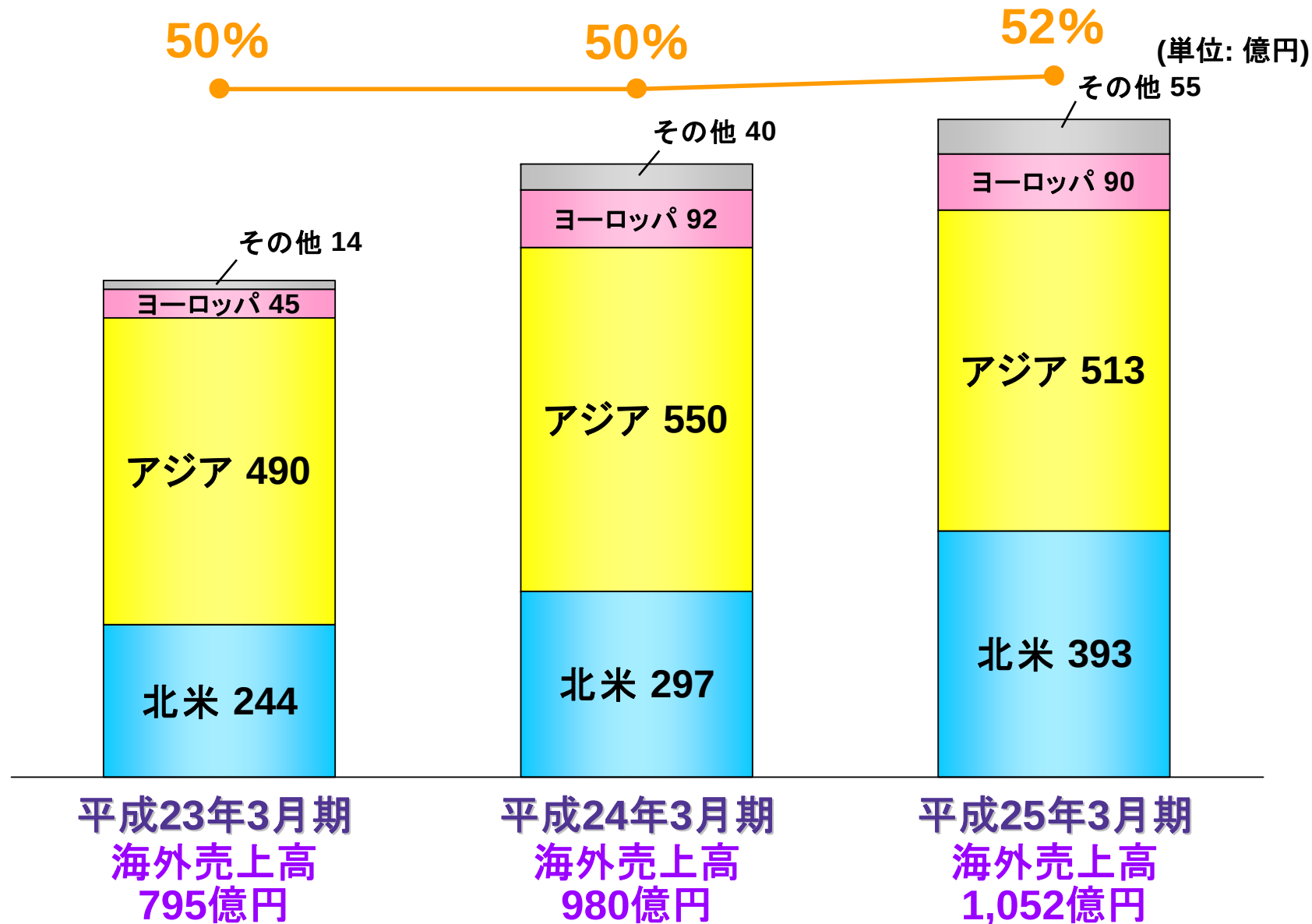
※平成24年4月に国内子会社の吸収合併等の組織再編を実施

海外売上高の推移

DAIFUKU

4

(%: 対売上高比率)



北米やメキシコが大幅増

(単位: 億円)

地区	国名	平成23年3月期		平成24年3月期		平成25年3月期	
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
北米		244.6	30.7	297.0	30.3	393.3	37.4
アジア		490.5	61.7	550.6	56.2	513.6	48.7
	台湾	92.1	11.6	146.3	14.9	146.8	13.9
	韓国	139.8	17.6	166.1	16.9	141.4	13.4
	中国	213.4	26.8	138.4	14.1	109.0	10.4
	タイ	15.5	1.9	49.1	5.0	53.1	5.0
	その他	29.7	3.8	50.7	5.3	63.3	6.0
ヨーロッパ		45.6	5.8	92.9	9.4	90.4	8.6
中南米		11.1	1.4	19.3	1.9	※38.8	3.7
その他		3.7	0.4	21.0	2.2	16.7	1.6
合計		795.5	100.0	980.8	100.0	1,052.8	100.0

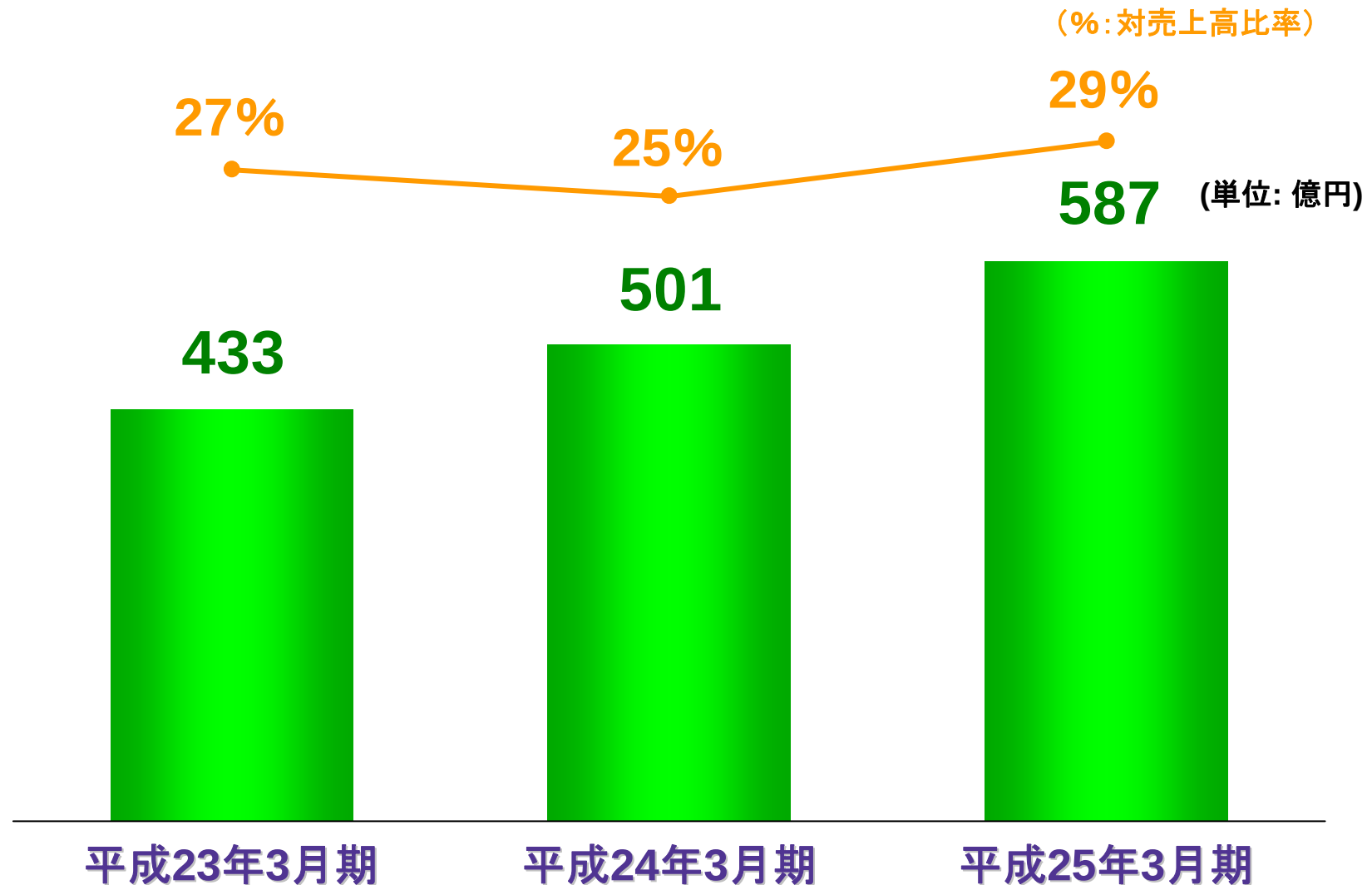
※うちメキシコ34.3億円、前年同期は2.4億円

サービス売上高の推移

DAIFUKU

6

※サービス売上高: 納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高



連結業種別受注高、売上高

DAIFUKU

7

自動車および自動車部品が回復

(単位: 億円)

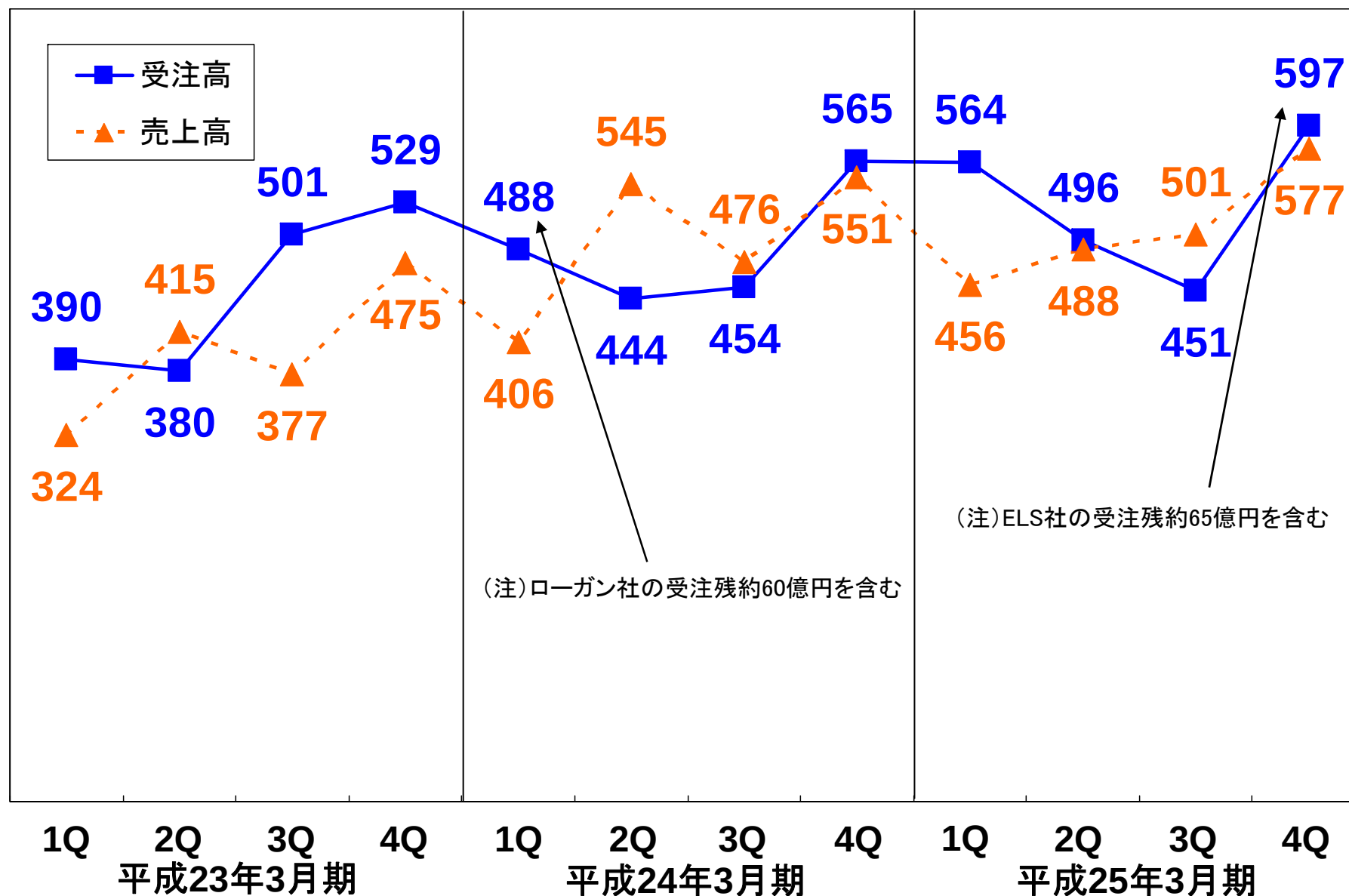
業種	受注高				売上高			
	平成24年3月期		平成25年3月期		平成24年3月期		平成25年3月期	
	受注高	構成比(%)	受注高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
自動車および自動車部品	449.1	23.0%	562.3	26.6%	432.9	21.9%	536.6	26.5%
エレクトロニクス	536.5	27.5%	500.2	23.7%	610.4	30.8%	502.1	24.8%
商業および小売業	334.3	17.1%	372.4	17.6%	308.5	15.6%	374.3	18.5%
運輸・倉庫	76.8	3.9%	64.2	3.0%	90.4	4.6%	71.8	3.5%
機械	55.7	2.9%	65.4	3.1%	61.4	3.1%	59.4	2.9%
化学・薬品	99.9	5.1%	80.4	3.8%	107.2	5.4%	87.8	4.3%
食品	50.6	2.6%	87.5	4.1%	54.6	2.8%	62.0	3.1%
鉄鋼・非鉄金属	35.3	1.8%	36.4	1.7%	36.3	1.8%	32.4	1.6%
精密機器・印刷・事務機	32.5	1.7%	32.9	1.6%	30.6	1.5%	27.2	1.3%
空港	157.0	8.0%	192.3	9.1%	123.6	6.2%	139.7	6.9%
その他	124.5	6.4%	115.9	5.7%	124.6	6.3%	130.0	6.6%
合計	1,952.2	100.0%	2,109.9	100.0%	1,980.5	100.0%	2,023.3	100.0%

受注高、売上高の四半期ごとの推移

DAIFUKU

8

(単位: 億円)

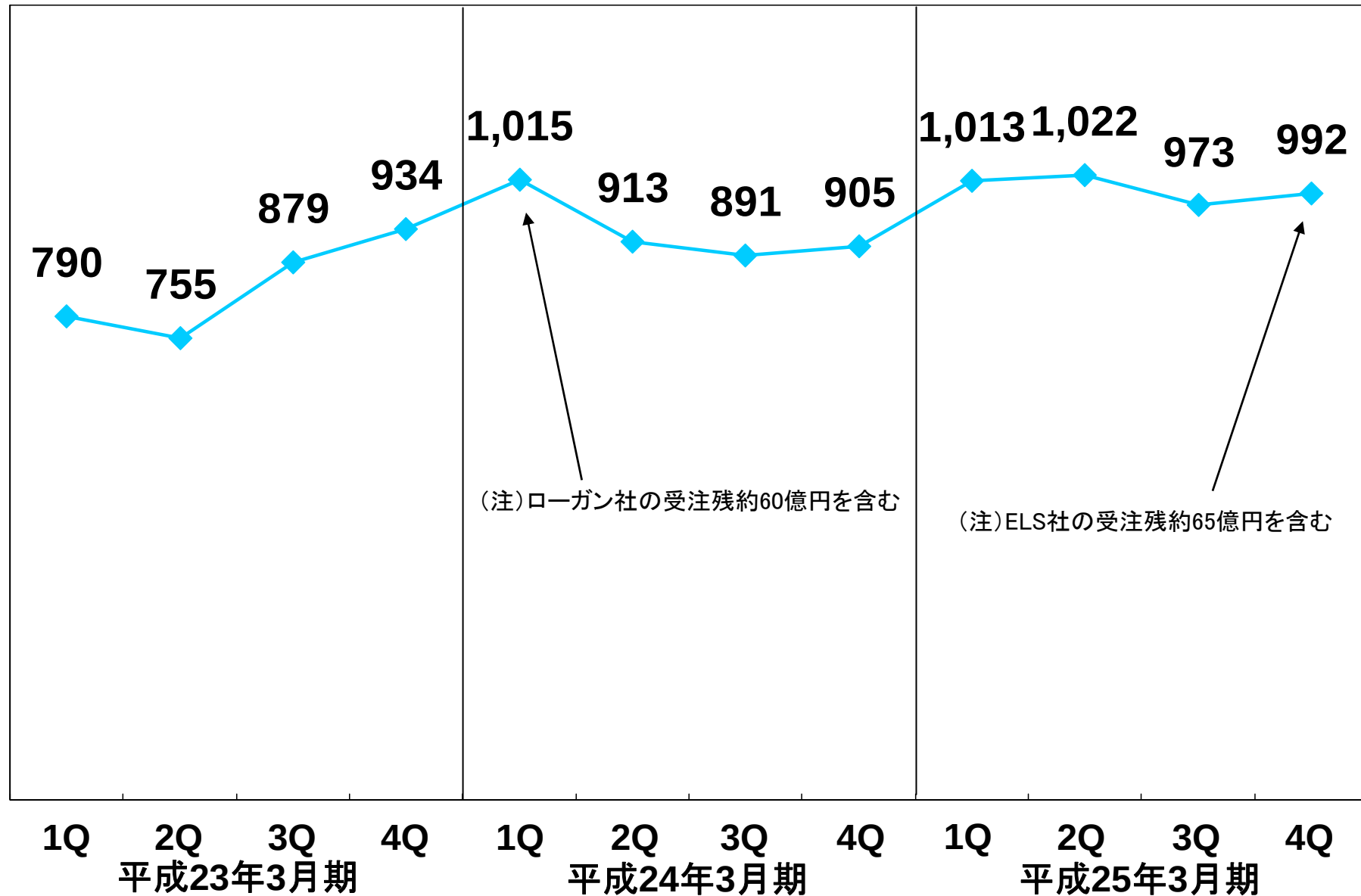


受注残の推移

DAIFUKU

9

(単位: 億円)



“お客さまのために、社会のために”

**S(安全)、Q(品質)、C(コスト)、D(開発)、E(環境)
を原点に戻って考えよう**

- 事故のない、環境の良い職場をつくり、現場でも安全を遵守した活動を行う
- 工場のモノづくり品質、納入先の立ち上がり品質の双方を向上
- 構造改革を全社展開
- 開発にICTを活用し、予防保全など、新たな付加価値を提供
- 環境は、当社の付加価値を上げるものである、という姿勢を徹底

平成26年3月期第2四半期業績予想(連結累計)

DAIFUKU

11

平成26年3月期
第2四半期

前年同期

(単位: 億円)

対前年同期比

受注高	1,200	1,060	13.1%増
売上高	1,100	944	16.5%増
営業利益	25	29	14.4%減
経常利益	23	24	5.8%減
四半期純利益	14	12	10.2%増

平成26年3月期業績予想 (連結)

DAIFUKU

12

(単位: 億円)

平成26年3月期

前年同期

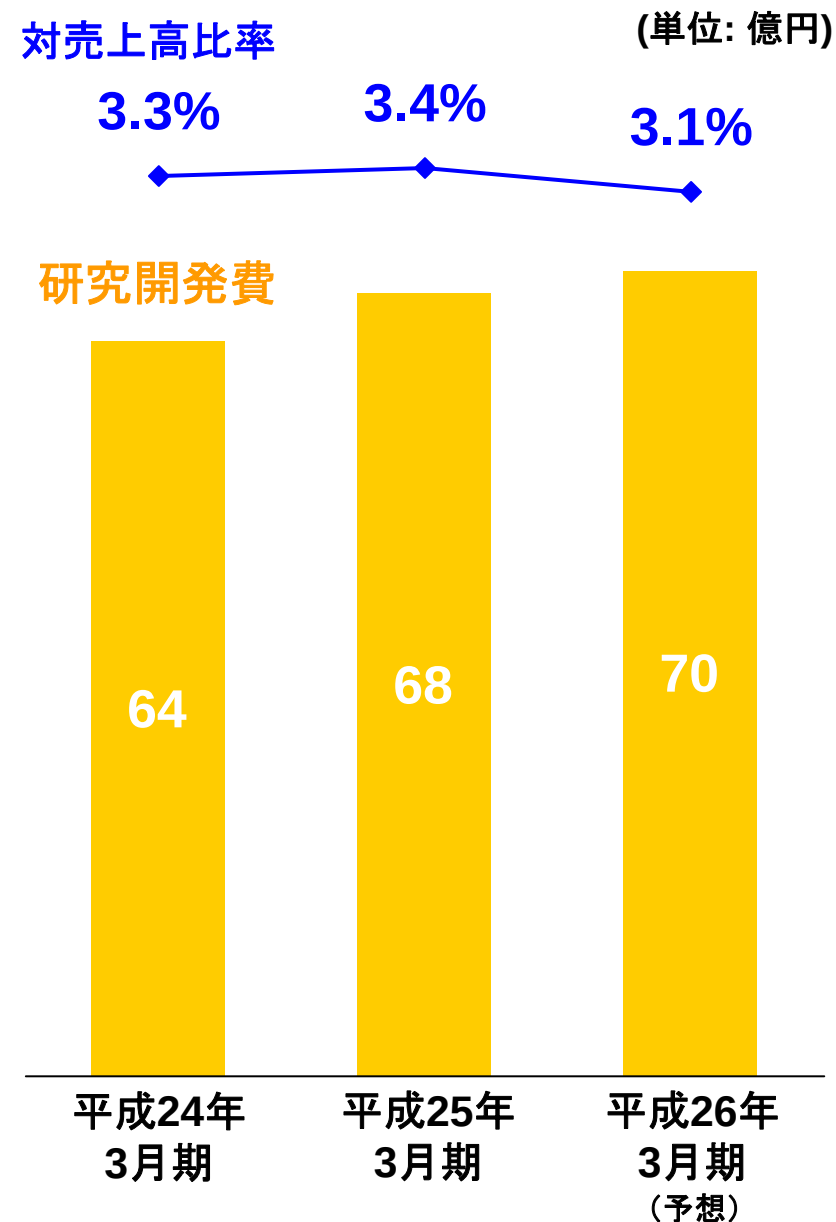
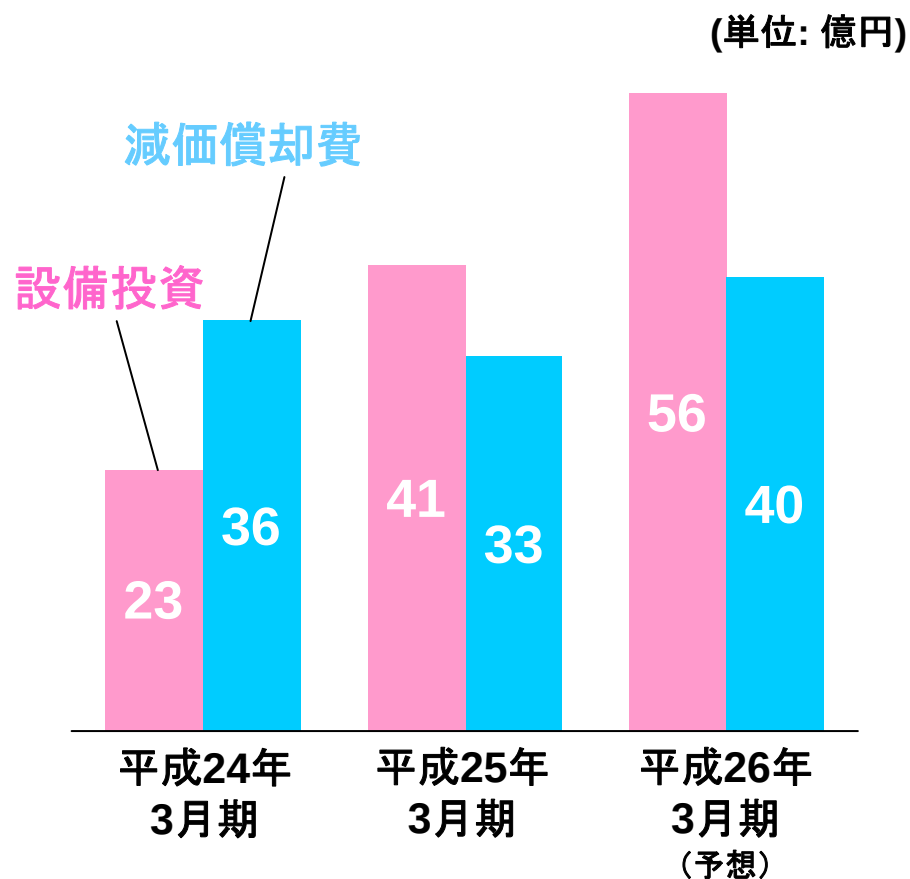
対前年同期比

受注高	2,300	2,109	9.0%増
売上高	2,250	2,023	11.2%増
営業利益	85	80	6.1%増
経常利益	80	79	0.0%増
当期純利益	50	44	12.6%増

設備投資、減価償却費、研究開発費の状況(連結)

DAIFUKU

13



有利子負債、固定費、従業員数の状況(連結)

DAIFUKU

14

有利子負債の状況

(単位: 億円)

		平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
	短期	28	179	342
	長期	381	331	192
有利子負債計		409	510	534

固定費および従業員数の状況

(単位: 億円)

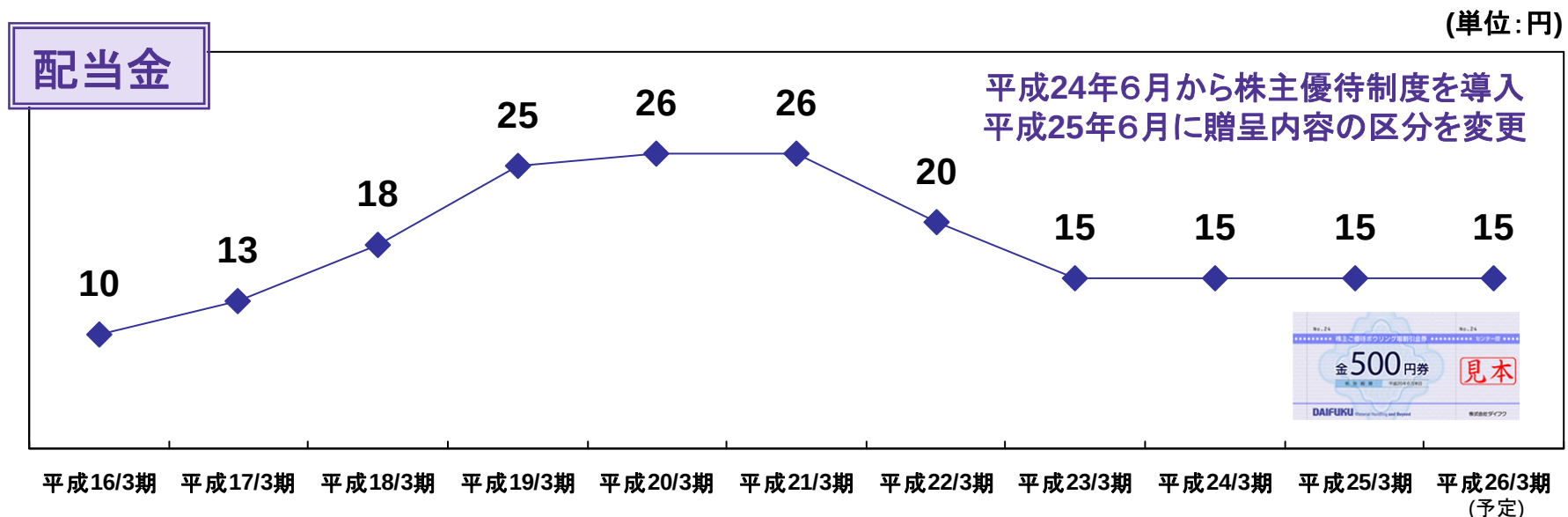
		平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
固定費		597	650	667
	内、人件費	368	417	452
従業員数(人)		5,209	5,617	6,678

利益配分に関する基本方針

DAIFUKU

15

1. 平成25年3月期：中間配当5円、期末配当10円、
年間で15円配当（配当性向：37.4%）
2. 平成26年3月期：中間配当5円、期末配当10円、
年間で15円配当（据え置き）の予定
3. 中期経営計画の配当方針
一株当たり配当金の持続的成長
中長期的配当性向30%を目指す



■ シャトルラックが農業や医薬卸向けに好調



シャトルラック(写真左)などで構成された馬鈴薯の製品出荷管理システム

■ コンテックの太陽光発電関連ビジネスが好調

再生エネルギー買取制度により、データ計測システムの売上・利益が大幅増



将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。